

香取遺産

大戸通崎遺跡は、大戸地先の谷地を望む見通しの良い台地上に存在した遺跡です。近くには、古代に政治的に重要な役割を持った香取神宮と関係が深い、大戸神社があります。



おお と かよいざき い せき

大戸通崎遺跡

— 謎の大型遺構 —

vol.183



ておらず、謎の遺構となっていました。

近年では、各地の発掘調査の成果により、類似した大型の円形遺構が、関東から東北で、古代の主要な政治拠点や交通路近辺から発見されることが明らかになってきました。これらの遺構は円形有段遺構と呼ばれ、その性格についてはさまざまな議論が行われています。

溜井戸説、貯蔵庫説、ごみ捨て穴説のほか、朝廷に献上する氷の保管庫に似ていることから氷室説、火をたいた痕跡が認められるものがあることから狼煙の点火施設とする説などがあります。

遺跡は既に消滅していますが、記録保存されているため、発見当時には不明だった遺構の性格を、新たに得られた情報から検討することができます。今後の調査研究の成果から謎が解明されるかもしれません。